

乳幼児教育の質の向上ニュースレター

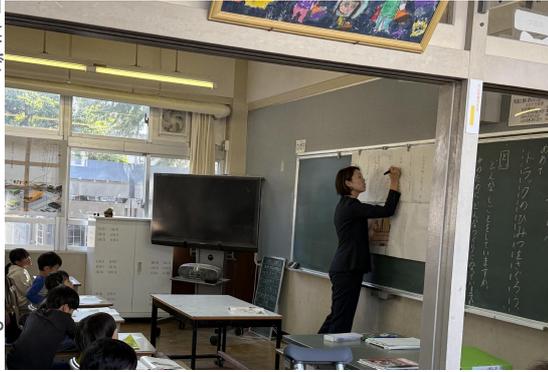
余内小学校にて「第4回保幼小架け橋研修会～授業参観～」を実施しました

令和7年11月10日、市立余内小学校において、第1学年1組担任 藤崎このみ教諭に、国語科「じどう車くらべ」の授業を公開していただき、5歳児担任保育者を対象に、小学校での学びについて理解を深める研修会を開催しました。

国語科の1時間の授業の中で、1年生が「読む活動」「書く活動」「話し合う活動」を通して、「トラックのしごととつくりを読み取る」学習をする姿を参観しました。また、授業者から学習のねらいやそのための手立てを聞き、グループワークを行う中で、小学校での教科の学びについて、理解を深めていただきました。

授業では、子ども達が自分の目当てを決めたり、自分でワークシートを選択したりすることで「やってみよう」の気持ちを高めている姿や、自分の経験と結び付けて考えたことを書いたり自分の言葉で話す姿、子ども達の考えたことを温かく受け止める教師の言葉がけや友達の話聞く姿など、自分の学習として主体的に取り組む様子がたくさん見られました。

参加された皆さんからは、架け橋期を一体的に捉え、学びをつなぐことを意識した保育・教育の実践を心がけたいといった感想が聞かれました。



【研修会内容】

- 1 第1学年1組
国語科「じどう車くらべ」授業参観
- 2 授業者から
- 3 グループワークと報告
「架け橋期をつなぐ」
- 4 まとめ

参加園

やまもも保育園
 中保育所
 朝来幼稚園
 永福こども園
 岡田こども園
 さくらこども園
 シオン幼稚園
 昭光保育園
 相愛こども園
 平こども園
 橘幼稚園
 タンボボこども園
 なかすじこども園
 中舞鶴幼稚園
 東山こども園
 ルンビニこども園
 うみべのもりこども園
 舞鶴こども園
 池内幼稚園
 志楽幼稚園
 ひばり幼稚園

～授業参観・グループワークから～

架け橋期の育ちや学び
 ～園でも 小学校でも
 大事にしたいこと！～

- 遊びでも学習でも、子どもが主体的に取り組む
- 子ども同士のやり取りをする中で考えが深まる
- 園で経験してきたことを学習の中にかかしていく
また、小学校での学びを見通して経験していく

学級全体で本時の目当てを確認したあと、自分の目当てを決めたり、自分でワークシートを選択したりすることで、「やってみよう」の気持ちを高めていました

自立心

【導入でのこどもの学ぶ姿】

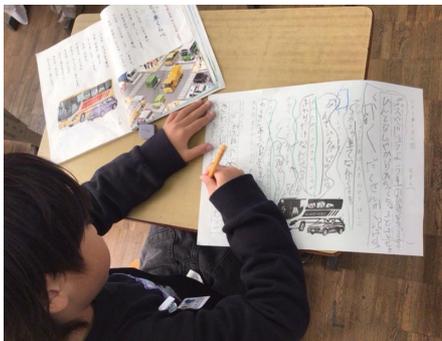
たくさんの参加者に囲まれて、子ども達は緊張気味でしたが、これまでの学習を受けて、本時で学習する目当てを学級全体で確認した後、自分がこの時間にがんばりたいことを「自分の目当て」として書き、学習へのモチベーションを高めていました。

また、ヒントのあるワークシートとヒントのないワークシートの2種類のワークシートが準備がされ、どちらを使うのかを自分で選んでいました。

【自分で読み取る姿】

教科書の言葉を手がかりに「トラックのひみつ(しごととつくり)」について、わかることを自分の経験と結び付け、自分の考えを書き込みました。

先生は、一人一人を見て回り、困っている子の相談に乗ったり、一人一人の考えを把握したりしました。



自分の考えを持つための「書く活動」では、自分の経験と結び付けて、「トラックのひみつ(仕事とつくり)」を自分の言葉で書いていました。

思考力の芽生え

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

※ 写真は公開日以外のものも使用しています

「話し合う活動」では、自分で読み取ったこと(トラックのひみつ)を経験と結び付けて一生懸命に話したり、友達のわかったことを自分の考えと比べながら聞き、自分の読みを広げたり、深めたりしていました。

また、自分の考えを話すことや友達の話を聞くことに夢中になる姿が見られました。

言葉による伝え合い

思考力の芽生え

協同性

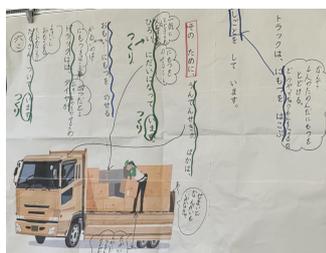
【友達とともに学び合う姿】

自分の読み取ったことを、友達に聞いてほしいと話します。黒板の挿絵を使って話す姿も見られました。



経験を元に自分で考えたことと友達の考えたことを、比べながら聞く姿が見られました。

担任は、一人一人の意見を肯定的に受け止め、板書したり子ども達に言葉を返したりしました。



※ これまでの学習を振り返ることができるよう教室に残していきます

【自分で振り返る姿】

今日の学習を振り返り、確かになったこと、気づいたこと、まだわからないこと、自分の目当てについてなど、書くことで整理をしました。

藤崎教諭の話から～抜粋～

【入学からこれまでに意識してきたこと】

- ・学級には、出身園からの入学が1名の子もいれば、複数いる子もいるので、入学時には、どの子も安心して過ごせ、友達と関われるように心がけた。
- ・幼児期の学びである遊びの楽しさを、小学校での学びの楽しさにつなげたいと思い、「楽しそう」「やってみたい」「知りたい」を大事にした。主体的に学べるように心がけてきた。

【「じどう車くらべ」の学習で大事にしたこと】

- ・1年生の説明文では、「とい」と「こたえ」の内容を読み取ること、その文章の構造が分かることが、学習の中心になるが、それだけでなく「じどう車がすき」な子も多いので、「じどう車くらべ」の単元でも、自分なりに自動車に関わり知っていることやそれぞれの経験などと結びつけて読んでほしいと思い、学習を進めてきた。
- ・本時は、「トラックのしくみ」を仕事とつなげ、「こんな風になっているんだ」と考えることをねらいとした。(思考力の芽生え)
- ・まだ、一人で読むことに自信のない子もいるので、ワークシートを2種類用意して、選べるようにした。自分の目当てを立てることも大事にしている。(自立心)
- ・話し合いでは、自分の考えを書いて話し合いをしているが、単なる発表にならずに、みんなで学び合うようにしている。(言葉による伝え合い)
- ・一人一人の意見を大事にしたいと思い模造紙に書いたり、言葉を返したりしたが、緊張して教師が多く話をしてしまった。
- ・公開授業を機にこれからも子ども達と一緒にがんばりたい。

子ども達が一人で学習する姿とみんなで学び合う姿や、主体的に学ぶことができるようにする手立てや教師の一人一人の考えを受け止める姿勢と温かい言葉などから、小学校での学びの援助について理解を深めることができました。

～参加者の感想より～

○ 日々の保育でも大事にする生活経験は、授業の中でも大切だと感じました。子どもから生まれた疑問を先生がすぐ答えるのではなく、子どもに返してみんなで考えたり、「なぜ」「どうして」や自分の思いを共有する場を設けることで、会話ややり取りが活発になっていると感じ、よいなと思いました。

疑問を解決するために、生活経験を元に考えている姿がよく見られたため、園での遊びの充実や興味・関心を持てる環境づくりを大切にしていきたいと思います。また、子どもの反応を受け止めたり、思いを認め、自己表現を安心して行えるような関わりを行っていきたいです。

○ 授業の中に選択肢がたくさんあり、子ども達が無理なく学べると感じました。また、子ども達の意見を聞いて、自分は思いもよらない視点からの意見で、そのような豊かな表現を大切にしていかなければならないなと思いました。また、先生はそのことを逃さずしっかりと受け止められていて、子ども達も自信を持って意見が言える環境だと思いました。

口に出して発表することが得意な子と自分の言葉を書いて表現することが得意な子が、それぞれの表現の仕方をしっかりと認めたいと思いました。

普段している振り返りの大切さ、また、遊びの充実の大切さを実感し、今後、子ども達の一つ一つの遊びをいかに充実させ、いかに心に残るものにするか考えながら、環境づくりと一緒に思い切り楽しむことなど、大切にしていきたいと思いました。

○ 子ども達は身近なことや自分のこれまでの経験から学んでいくんだと改めて感じました。「自分が荷物たのんだ時どうやった？」など、身近な事柄とつなげた発問をされた時に、子どもたちがのびのびと意見を言う姿が印象的でした。また、「なんでトラックはにもつをはこんぶんだろう」「軽トラはどうなんだろう」など疑問を自分で見つけたり、それをみんなに伝えられる姿が素敵だと思いました。わからないことや不思議に思ったことなどを、みんなに聞いてみようと思える保育をしていきたいと思いました。

